

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

181

子ども・子育て支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	3	子供たちがいきいきと育つまち
政策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
施策	1	安心して子供を生み育てることのできる環境の整備
取組方針	2	子供が健やかに育つことのできる環境づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	児童福祉費		
	目	児童福祉総務費		
	大事業	児童福祉総務費(子育て支援課)		
	中事業	子ども・子育て支援事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市子ども・子育て支援事業計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	子育て支援課 幸前 知子	435-1329
事業実施の根拠法令	子ども・子育て支援法		関連課	保育こども園課・地域保健課・青少年課等		

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	子供が健やかに成長できる社会の実現を目指し、質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、保育の量的拡大・確保、子ども・子育て支援の充実を図る。		子ども・子育て支援新制度開始に伴い、和歌山市子ども・子育て支援事業計画を策定し、計画の推進・進捗管理を行う。			
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	
	「和歌山市子ども・子育て支援事業計画」の推進・進捗管理を行うために和歌山市子ども・子育て会議を開催・運営していく。	「和歌山市子ども・子育て支援事業計画」の推進・進捗管理を行うために和歌山市子ども・子育て会議を開催・運営していく。	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、和歌山市子ども・子育て支援事業計画の推進・進捗管理。	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、及び第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の策定。	子ども・子育て会議において、幼保認定型認定こども園の認可や特定教育・保育施設の定員の設定、及び第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画の進捗管理。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	563	195	532	122	6,483	6,248	4,443	0	532	0
伸び率(%)	△37.2%	75.7%	△5.5%	△37.4%	1,118.6%	5,021.3%	△31.5%	△100%	△88%	0%
人件費	正規職員	6,597	4,292	14,517	7,976	7,353	6,154	5,515	0	5,515
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	6,597	4,292	14,517	7,976	7,353	6,154	5,515	0	5,515
国庫支出金	0	0	0	0	2,065	2,049	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	563	195	532	122	4,418	4,199	4,443	0	532	0
所要人数(人)	正規職員	0.83	0.54	1.82	1.00	0.92	0.77	0.69	0.00	0.69
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	報酬 6,650千円 調査委託料 2,502千円 印刷製本費 1,100千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
子ども・子育て会議開催予定数		回	目標値	3	3	2	5	3
			実績値	1	1	2		
			達成度(%)	33.33%	33.33%	100%	0%	%
子ども・子育て会議開催数		回	目標値	3	3	2	5	3
			実績値	1	1	2		
			達成度(%)	33.3%	33.33%	100%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	○ 達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>附属機関である和歌山市子ども・子育て会議において、「和歌山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理や認定こども園の認可の審議等を行う。令和元年度においては、平成30年度実施の子供の生活実態調査とニーズ調査を受け、第二子子ども・子育て支援事業計画策定のため、会議の開催数も多くなり、内容を充実させていく必要がある。</p>
見直し・改善内容	<p>令和元年度に「第二期和歌山市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、令和2年度から実施する。本誌全体の子育てに関する計画であることを踏まえ、進捗を管理し、必要に応じて調整が必要となる。</p>